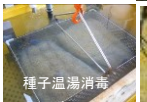
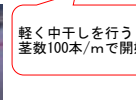
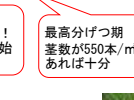
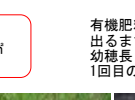
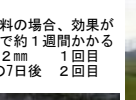
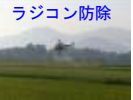
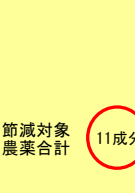


月旬別	2023年		2024年																									
	9月～10月	10月～12月の期間中	4月			5月			6月			7月			8月			9月			9月～10月	10月～12月の期間中						
			上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬								
時 期	土づくり 農閑期					播種期	発芽、苗立期		有効分げつ期			無効分げつ期			幼穂形成期			出穂期	登熟期			収穫期		土づくり	農閑期			
水管理	稲わらの踏み込み 作土深15cm以上 湛水管理 (2ヶ月以上)					代掻き	10日間		現地検査						現地検査						稲わらの踏み込み 作土深15cm以上 湛水管理 (2ヶ月以上)		土づくり					
管理作業の要点	土づくり		荒おこし			播種 落水		湛水管理で分げつ促進			中干し延期			中干し			幼穂形成期から間断通水 徐々に地固め			土づくり								
	スタートは土づくりから  ケイカルは化学肥料としてカウントしない 土づくり ケイカル 500kg/10a散布		 温湯消毒済み種子をカルバーコーティング(JAへ必要量を注文) 種子温湯消毒			 播種		 除草剤・予防剤散			 軽く中干しを行う！ 茎数100本/mで開始			 最高分げつ期 茎数が550本/mあれば十分			 有機肥料の場合、効果が出るまで約1週間かかる 幼穂長2mm 1回目の7日後 2回目			 ラジコン防除 足跡に水が残る程度維持			 適期刈取 青刈割合10～15% 稲水分 20～25%			 ケイカル無償散布		
	秋耕し 作土深15cm以上 生き物や環境を育む活動 「ふゆみずたんぼ」冬期湛水(2ヶ月以上)		温湯消毒済み種子による (温湯種子消毒技術) 化学合成農薬の使用を低減する技術 (有機質肥料施用技術)			播種2～3日前に代掻き 土づくりに関する技術 (堆肥等有機質資材施用技術)		カルバーコーティング ダントツフロアブル・ルーチンシードFS 水温60℃で10分間浸種 (浸種後、直ちに冷却)			基肥・乳白米防除対策 5月上中旬播種(播種後直ちに糸張り) 薄まき(2・152・3kg/10a)			銅剤米防除対策 収穫2～3日前までの間断通水			銅剤米防除対策 収穫2～3日前までの間断通水			稲水分25%以下で収穫 (9月10日頃) 乾燥作業はゆっく			秋耕し 作土深15cm以上 生き物や環境を育む活動 「ふゆみずたんぼ」冬期湛水(2ヶ月以上)					
	秋耕し 作土深15cm以上 生き物や環境を育む活動 「ふゆみずたんぼ」冬期湛水(2ヶ月以上)		温湯消毒済み種子による (温湯種子消毒技術) 化学合成農薬の使用を低減する技術 (有機質肥料施用技術)			播種2～3日前に代掻き 土づくりに関する技術 (堆肥等有機質資材施用技術)		カルバーコーティング ダントツフロアブル・ルーチンシードFS 水温60℃で10分間浸種 (浸種後、直ちに冷却)			基肥・乳白米防除対策 5月上中旬播種(播種後直ちに糸張り) 薄まき(2・152・3kg/10a)			銅剤米防除対策 収穫2～3日前までの間断通水			銅剤米防除対策 収穫2～3日前までの間断通水			稲水分25%以下で収穫 (9月10日頃) 乾燥作業はゆっく			秋耕し 作土深15cm以上 生き物や環境を育む活動 「ふゆみずたんぼ」冬期湛水(2ヶ月以上)					
秋耕し 作土深15cm以上 生き物や環境を育む活動 「ふゆみずたんぼ」冬期湛水(2ヶ月以上)		温湯消毒済み種子による (温湯種子消毒技術) 化学合成農薬の使用を低減する技術 (有機質肥料施用技術)			播種2～3日前に代掻き 土づくりに関する技術 (堆肥等有機質資材施用技術)		カルバーコーティング ダントツフロアブル・ルーチンシードFS 水温60℃で10分間浸種 (浸種後、直ちに冷却)			基肥・乳白米防除対策 5月上中旬播種(播種後直ちに糸張り) 薄まき(2・152・3kg/10a)			銅剤米防除対策 収穫2～3日前までの間断通水			銅剤米防除対策 収穫2～3日前までの間断通水			稲水分25%以下で収穫 (9月10日頃) 乾燥作業はゆっく			秋耕し 作土深15cm以上 生き物や環境を育む活動 「ふゆみずたんぼ」冬期湛水(2ヶ月以上)						
化学肥料窒素栽培期間中不使用			有機肥料窒素のみを使用する																				化学肥料窒素合計		不使用			
		 ミネラルPK 60kg		 HG有機666を60kg/10a 施用		葉色、茎数、草丈に応じてこたわり有機712を施用 目安 平坦地30kg/10aの2回 山間地25kg/10aの2回																		 こたわり有機712				
節減対象農薬11成分/10a以内			節減対象農薬合計																				11成分					
		 ダントツフロアブル (1成分)		 ルーチンシードFS (1成分)		 カルバー粉粒剤 (1成分)		 クンシコンプリート粒剤 (2成分)		 クンシコンプリート粒剤 (1成分)		 マックスロード液剤 (1成分)		 ラウンドアップ (1成分)		 リンパー粒剤 (1成分)		 スマレクト粒剤 (1成分)		 エクシード粉剤DL (1成分)		 アルバリン (1成分)						